



あなたの家は、だいじょうぶですか？

地震から命をまもる耐震化を進めましょう！

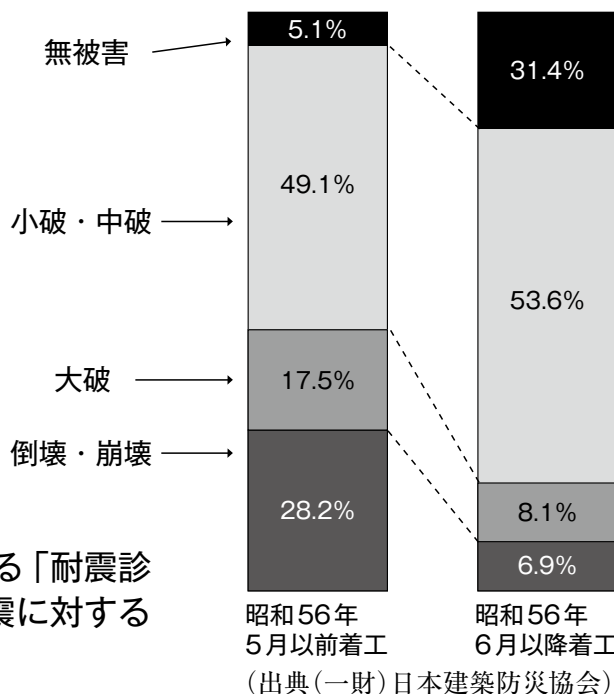
平成28年に発生した熊本地震や、平成30年に発生した北海道胆振東部地震では巨大地震による被害の大きさをあらためて認識することとなりました。

昭和56年5月以前の木造住宅は、耐震性が低い可能性が高く、大地震に対して倒壊の危険性などの大きな被害を受ける可能性があります。

昭和56年5月以前に建てられた住宅と昭和56年6月以降に建てられた木造住宅を比べると、倒壊・崩壊率が約4倍となっています。

ぜひ、お住まいの「耐震性」(強さ)を調べる「耐震診断」を行い、お住まいの弱点を認識し、大地震に対する具体的な対策をたてましょう！

○平成28年熊本地震における木造住宅の被害割合



誰でもできるわが家の耐震診断 (一般財団法人 日本建築防災協会)



ところで どうして地震に弱いのか？



家はふだん、自分自身の重さを、柱やはりなどで分担して受け止めています。どこかに弱い部分があっても、自分自身の重さという負担に耐えていられれば、建っていることができます。



大きな地震ではここに、横向きにとても大きな力が加わります。この力を、壁や筋かいなどが分担して支えようとします。家全体には「自分の重さ+地震の力」という、ゆがませるような大きな負担がかかります。



このとき、それぞれの分担量がとても大きくなってしまったり、分担のバランスが悪かったり、お互いがうまくつながっていなかったりすると、ふだんとは違う負担に耐えられない箇所がでてきます。すると、自分自身の重さを受け止めて建っていることができなくなってしまうのです。(出典 (一財) 日本建築防災協会)

●地震に強い住まいづくりのためのお役立ち情報サイト

耐震診断・耐震改修に必要な情報を調べることができるサイトのリンク集

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/sumaidukuri/>



(一財) 日本建築防災協会

☎ 建設課 建築係 ☎ 83-1415